

令和6年度 共同授業学生募集案内



ふじのくに地域・大学コンソーシアム
西部地域連携事業実施委員会 共同授業部会

共同授業参加大学

静 岡 大 学
静 岡 文 化 芸 術 大 学
常 葉 大 学
聖 隷 クリ ス ト フ ァ ー 大 学
浜 松 学 院 大 学 ・ 短 期 大 学 部
静 岡 理 工 科 大 学
静 岡 産 業 大 学

単位認定校／静岡産業大学

◇目次

●共同授業について	-----	P 1
●出願手続きについて	-----	P 2～P 3
●ガイダンスについて	-----	P 4
●共同授業の内容について	-----	P 4～P 5
●会場案内について	-----	P 6
●講義概要について	-----	P 7～P 14
●問い合わせ先について	-----	P 15

公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム
ホームページ (fujinokuni-consortium.or.jp)

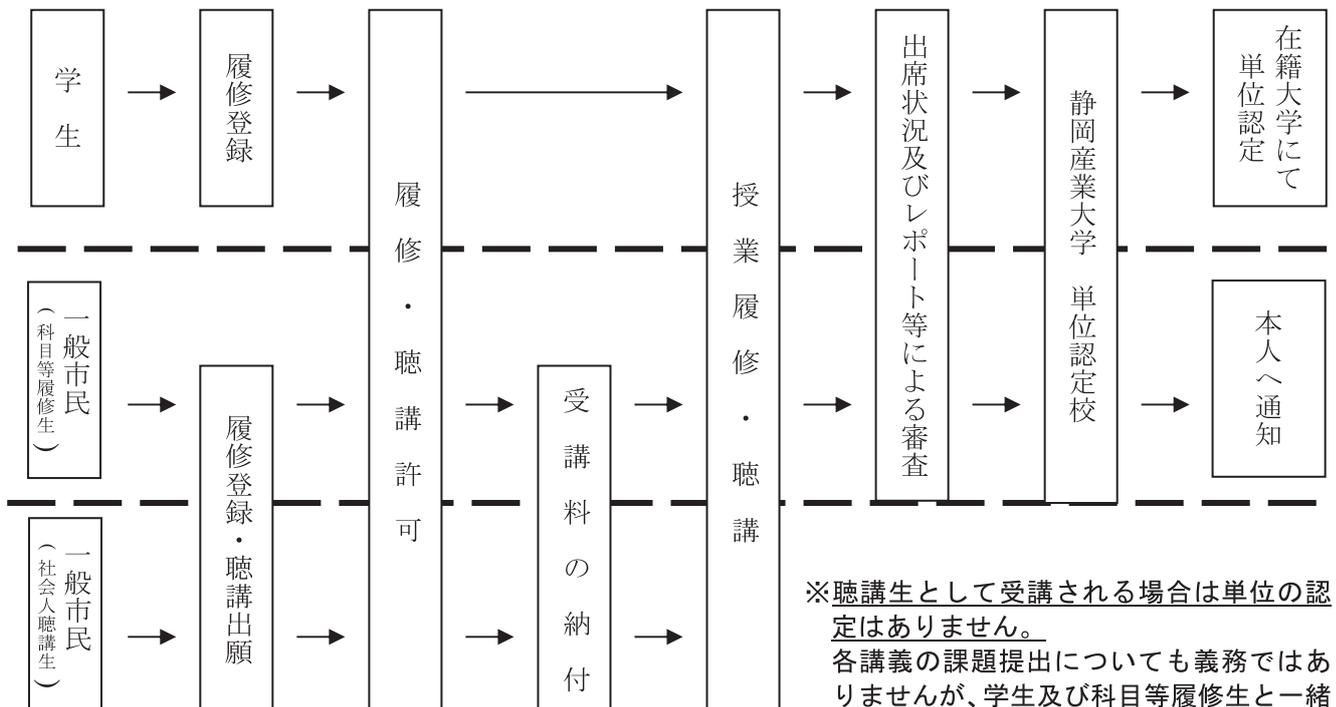


◇共同授業について

- 共同授業は、ふじのくに地域・大学コンソーシアム西部地域連携事業実施委員会共同授業部会に参加する7大学（以下「共同授業参加大学」という。）が協力して、共同で行う授業です。
- 授業は、共同授業参加大学の教授陣により、オムニバス形式で行います。
- 課題及び出席状況等による成績基準を満たせば単位の取得ができます。
（ただし、一般市民の方が「聴講生」として受講する場合、単位の付与はありません。）
- 共同授業参加大学の教員や学生、市民の方々に交流の場を提供します。
- 共同授業の履修者は、共同授業参加大学の図書館を利用することができます。

〈共同授業の聴講及び単位認定までの流れ〉

- 令和6年度の共同授業は、静岡産業大学が単位認定校です。



※聴講生として受講される場合は単位の認定はありません。
各講義の課題提出についても義務ではありませんが、学生及び科目等履修生と一緒に、積極的に取り組んでみて下さい。

◇学生の出願手続きについて

1 申込者の資格

○以下の共同授業参加大学に在籍している学生

静岡大学
静岡文化芸術大学
常葉大学
聖隷クリストファー大学
浜松学院大学・短期大学部
静岡理工科大学
静岡産業大学

2 出願方法・期間等

○出願は在籍する大学の履修登録窓口で受け付けます。

○在籍する大学の定める期間内（各大学から単位認定校に7月末までに提出します）に「共同授業出願票」を提出してください。

3 履修許可

○履修許可は、在籍する大学を通して通知します。なお、申込者多数の場合は、抽選等を行う場合があります。

○許可を受けた方は、授業初日の10月5日（土）9時15分に行われるガイダンスに必ず出席の上、授業を受けてください。

4 取得単位

○課題及び出席状況等による成績基準を満たせば、静岡産業大学の「特別共同講義」（2単位）の単位取得ができます。また、当該取得単位は、在籍する大学で、これに相当する科目の単位として認定することもできます。（下表参照）

共同授業参加大学	単位認定科目
静岡大学	学際領域B「人間と環境」
静岡文化芸術大学	「人間科学特論」又は「特別共同授業A」
常葉大学	「総合科目A」又は「総合科目B」
聖隷クリストファー大学	「大学間交流授業」
浜松学院大学	「総合科目Ⅱ」
浜松学院大学短期大学部	「総合科目A」又は「総合科目B」
静岡理工科大学	「特別共同講義」
静岡産業大学	「特別共同講義」

※在籍する大学での単位認定については、履修登録窓口にお問い合わせください。

◇一般市民の出願手続きについて

1 申込者の資格

高校卒業もしくは同等の学力を有すると認められる方

2 受講種別

○科目等履修生（履修登録料 22,000 円）

課題及び出席状況等による成績基準を満たせば、静岡産業大学の単位が取得できます。

○聴講生（聴講料 8,000 円）

授業の聴講のみで単位の認定はありません。各講義の課題提出についても義務ではありませんが、学生及び科目等履修生と一緒に、積極的に取り組んでみてください。

3 出願方法・出願期間等

○出願期間 令和6年7月1日（月）～8月20日（火）

※土・日・祝日及び8月12日～16日を除く。

受付時間は8時30分～17時00分

○出願書類 「共同授業出願票」

○提出先 静岡文化芸術大学 教務・学生室（郵送・持参・Webのいずれか）

郵送・持参 〒430-8533 浜松市中央区中央2-1-1

TEL 053-457-6114 FAX 053-457-6123

web出願 <https://forms.office.com/r/4cUugPgPy9>

※出願等についてご不明な点は上記までお問い合わせください。

令和6年度 大学共同授業 聴講
生・科目履修生募集



4 履修許可・聴講許可・手続き

○履修許可・聴講許可は、8月末日までに通知（郵送）します。なお、申込者多数の場合は、抽選等を行う場合があります。

○許可通知を受けた方は、次の手続きを行ってください。

・科目等履修生の方は履修登録料（22,000 円）を、聴講生の方は聴講料（8,000 円）を、9月13日（金）までに次の指定口座にお振込みください。

【振込先】

スルガ銀行 静岡県庁支店 普通預金 1705055

シャ.フジノクニチイキダイガクコンソーシアム

※振込人名は、履修者・聴講者本人名にてお願いします。

※振込手数料は各自でご負担いただくようお願いします。

5 取得単位

○科目等履修生の方は、課題及び出席状況等による成績基準を満たせば、静岡産業大学の「特別共同講義」（2単位）の単位取得ができます。

○聴講生の方は、単位の認定はありません。

○令和4年度より、本授業は「しずおか県民カレッジ」の連携講座となっています。

◇ガイダンスについて

日 時：令和6年10月5日（土）9：15～9：30

会 場：静岡大学浜松キャンパス（浜松市中央区城北3-5-1 TEL 053-478-1022）
教室は履修許可通知を送付する際（8月下旬予定）にご案内いたします。

○受講における注意事項などについて説明します。初回の受付を済ませた上で、必ず出席してください。

◇共同授業の内容について

1 開講期間 令和6年10月5日（土）～令和6年12月21日（土）のうち8土曜日

2 講義会場 静岡大学浜松キャンパス（各回の教室はガイダンスにて連絡します。）

3 講義テーマ 「人間と環境」－「Society 5.0時代を豊かに生きるため」－

【テーマ説明】 Society5.0とは、狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもので、2016年の第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱されました。Society 5.0とは、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムによって開かれる社会を指します。Society 5.0で実現する社会は、IoT（Internet of Things）で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、課題や困難を克服します。現在、そしてこれからのSociety5.0を豊かに生きるために我々はどう立ち向かえばいいのか。各講師が専門分野に沿った講義を実施します。

4 講義日程 9：30～12：40（第1回のみ9：15よりガイダンスを実施）

回	期日	講義回数	担当講師
			講義テーマ
第1回	10月5日 （土）	ガイダンス	9：15～9：30
		第1講	静岡理工科大学 理工学部 教授 本井 幸介
		第2講	医療・福祉における先進生体計測技術・IoTの活用
第2回	10月12日 （土）	第3講	静岡大学 情報学部 准教授 金 鎮赫
		第4講	パーソナライズされたヘルスケアの未来：日常のウェルネスデータの活用
第3回	10月19日 （土）	第5講	静岡文化芸術大学 デザイン学部 准教授 百束 朋浩
		第6講	フィクションに見るARの実現性
第4回	10月26日 （土）	第7講	聖隷クリストファー大学 国際教育学部 教授 竹本 石樹
		第8講	Society 5.0時代の人材育成
第5回	11月2日 （土）	第9講	静岡大学 工学部 准教授 立蔵 洋介
		第10講	音をあやつる ―信号処理と機械学習の交差点―
第6回	11月16日 （土）	第11講	常葉大学 健康プロデュース学部 講師 神力 亮太
		第12講	Society5.0社会におけるスポーツの重要性
第7回	11月30日 （土）	特別公開講座	静岡産業大学 スポーツ科学部 学部長 高橋 和子
		第13講 第14講	人生100年時代への挑戦：和顔施でしなやかに生きる
第8回	12月7日 （土）	第15講	浜松学院大学 学長 今井 昌彦
		第16講	“創発”の諸相：生成AIがもたらすもの、それへの取り組み（事例）
予備日	12月14日 （土）		臨時休講が発生した場合の予備日
予備日	12月21日 （土）		臨時休講が発生した場合の予備日

○講義時間は、①9：30～11：00（90分）、②11：10～12：40（90分）となります。

○上記の講義日程は会場校（静岡大学）または講師の都合により変更となることがあります。

5 評価方法（聴講生を除く）

(1) 授業の評価は、次の①②により、課題の点数の合計に基づき、ふじのくに地域・大学コンソーシアム西部地域連携事業実施委員会共同授業部会が行います。

① 全講師が課題を提示し、各回10点満点で採点します。

② 全8回分を合計したものに（80点満点）、1.25をかけて100点満点に換算し（小数点以下は切り上げ）、S（100～90点）、A（89～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）で評価します。

③ 次のア・イの両方を満たす場合に限り、S・A・B・Cの者に単位を授与します。

ア 全16講（全8回×2講）のうち10講以上の出席

イ 課題提出が全8回のうち5回以上で、上記②でC以上の評価

(2) 共同授業部会による授業の評価を受けて、単位認定校（静岡産業大学）が単位修得に関する証明書を交付します。

(3) なお、共同授業参加大学の学生は、その後、所属大学が最終的な評価を行います。その方法や必要な手続き等については所属大学の担当部署に確認してください。

6 臨時休講に関する措置について

以下の(1)～(5)に該当する場合は、臨時休講とします。なお、臨時休講した場合の対応については、別途お知らせします。

(1) 午前7時から午前9時の間で、静岡県西部、中部あるいは愛知県東部のいずれかに、「特別警報（大雨・暴風）」、「暴風警報」または「地震注意情報または予知情報（警戒宣言）」が発令されているときは、当日すべての授業を休講とする。

(2) 午前9時以降（第1限目講義中含む）に、静岡県西部、中部あるいは愛知県東部のいずれかに、「特別警報（大雨・暴風）」、「暴風警報」または「地震注意情報または予知情報（警戒宣言）」が発令されたときは、第1限目を開講し、その終了後、第2限目の授業を休講とし別の日に補講をする。

※(1)・(2)の具体事例

Q1 午前9時15分に対象地域に「特別警報（大雨・暴風）」、暴風警報が発令された場合は、開講されますか？

A1 上記の(2)にあてはまるため、第1限目は開講し、第2限目は休講とします。

Q2 午前7時時点で対象地域に「特別警報（大雨・暴風）」、暴風警報が発令されていたが、その後、午前7時15分に全ての対象地域において、暴風警報が解除された。授業は開講されますか？

A2 午前7時から午前9時の間で対象地域に暴風警報が発令されている時点で、上記の(1)にあてはまるため、全て休講とします。

(3) 午前7時時点でJR東海、遠鉄電車、遠鉄バスのストライキが解除されない場合は当日すべての授業を休講とする。なお、午前7時現在、ストライキが解除された場合は、平常通り授業を行う。

(4) 交通機関により計画的な運休が発表された場合、対象路線や運休期間等の発表内容に基づき、休講とすることがある。

(5) 上記以外の場合でも授業を行うことが困難な場合は休講とすることがある。

※上記の地域区分は次のとおりで、気象庁の発表区域に基づいています。

(気象庁WEBページ <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

静岡県西部…遠州北（浜松市北部）、遠州南（浜松市南部、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、森町）

静岡県中部…中部南（静岡市南部、島田市、焼津市、藤枝市、牧野原市、吉田町）
中部北（静岡市北部、川根本町）

愛知県東部…西三河北東部（豊田市東部）、東三河北部（新城市、設楽町、東栄町、豊根村）、東三河南部（豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市）

◇会場案内について



静岡大学 浜松キャンパス

〒432-8561 浜松市中央区城北3-5-1

TEL 053-478-1022（担当：浜松教務課共通教育係）

【浜松駅からバスをご利用の場合】

- ・JR 浜松駅前 北口バスターミナル 15, 16 番乗り場から 全路線「静岡大学」下車（所要時間約 20 分、1 時間に 10 本程度運行）

※会場に駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

◇講義概要について

※ 講義は原則対面形式で実施しますが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況等に鑑みオンライン形式に切り替えることがあります。

第1回〈第1・2講〉令和6年10月5日（土） 9：30～12：40

◆講師 静岡理科大学 理工学部 教授 本井 幸介

◆講義テーマ 医療・福祉における先進生体計測技術・IoTの活用

◆講義内容

近年、治療型から、予防型の医療へのシフトが急務となり、介護分野でも、長きにわたり活動性を高い状態で保つことが求められている。これに向け、遠隔・在宅の医療や介護体制の構築が急務だが、センサやIoTを活用することにより、街全体が医療・介護施設とすることも可能となってきた。本講義ではこれら実機のデモなども通して、それら技術を知り、今後の課題・展開を考察する。

◆課題実施方法

授業中並びに終了時に実施する小テストを10点満点で評価する。

◆参考図書等

山越憲一「ヘルスケアモニタリング技術：最近の動向と今後の展開に向けて」バイオインダストリー, 40(9), pp.11-25, 2023.

◆Eメールアドレス

motoi.kosuke@sist.ac.jp

【講師プロフィール】

◆専門分野

生体医工学、リハビリテーション科学、福祉工学、医療情報学

◆主な研究テーマ

無意識・無拘束を含む先進生体計測技術の開発とその臨床応用研究

◆主な論文、著作、社会的な活動等

医療・介護における健康管理支援のためのベッドシート内蔵型体温計測システムの基礎的検討（生体医工学、2020年）など（参考サイト <https://researchmap.jp/motoi.kosuke>）

◆講師 静岡大学 情報学部 准教授 金 鎮赫

◆講義テーマ パーソナライズされたヘルスケアの未来：日常のウェルネスデータの活用

◆講義内容

近年、IoT技術を用いたデータセンシング技術の発展により健康に関連するウェルネスデータの収集・活用に画期的な変化が起きています。本講義では、現代の生活において不可欠なIoT技術を用いたデータセンシングに焦点を当て、ヘルスケアの個別化に向けた最新動向を解説します。また、健康づくりのためのセンシング技術の将来の展望について議論します。

◆課題実施方法

1時限目と2時限目に実施する小テストを各5点、10点満点で評価する。
基本はスマートフォンによる回答とするが、希望する場合には解答用紙を配布する。

◆参考図書等

「健康行動学」メディカル・サイエンス・インターナショナル、ISBN-13：978-4815701253
(健康関連行動の理論と実践の最新動向を解説する書籍)

「AIファースト・ヘルスケア」オライリー・ジャパン、ISBN-13：978-4814400034 (ヘルスケアにおけるAIの可能性を論じた書籍)

◆Eメールアドレス

kimj@inf.shizuoka.ac.jp

.....
【講師プロフィール】

◆専門分野

健康情報学、健康心理学

◆主な研究テーマ

日常生活習慣行動及び健康リスクのメカニズムの解明と介入
日常生活下のスマートフォンとウェアラブルデバイスを用いた多次元健康情報の計測
モバイルヘルスシステムの構築

◆主な論文、著作、社会的な活動等

1. 金鎮赫, 東郷史治. 運動習慣の精神的健康への影響 (特集日常生活再検討から得られる治療と予防の手がかり). 精神科, 39: 630-636, 2021.
2. Kim J, Conroy DC, Smyth JM. Bidirectional associations of momentary affect with physical activity and sedentary behaviors in working adults. *Annals of Behavioral Medicine*, 54: 268-279, 2020.
3. Kim J, Marcusson-Clavertz D, Yoshiuchi K, Smyth JM. Potential benefits of integrating ecological momentary assessment data into mHealth care systems. *Biopsychosocial Medicine*, 13: 19, 2019.
4. Kim J, Nakamura T, Kikuchi H, Yoshiuchi K, Sasaki T, Yamamoto Y. Covariation of depressive mood and spontaneous physical activity in major depressive disorder: Towards continuous monitoring of depressive mood. *IEEE Journal of Biomedical and Health Informatics*, 19: 1347-1355, 2015.
5. Kim J, Nakamura T, Kikuchi H, Sasaki T, Yamamoto Y. Co-variation of depressive mood and locomotor dynamics evaluated by ecological momentary assessment in healthy humans. *PLoS ONE*, 8: e74979, 2013.

◆講 師 静岡文化芸術大学 デザイン学部 准教授 百束 朋浩

◆講義テーマ フィクションに見るARの実現性

◆講義内容

Society5.0の実現のためにはVRを始めたとしたxR技術※がインフラとして普及している必要がある。その中でも、現実空間と仮想空間との融合である、AR (Augmented Reality) はその中核となることが予想される。本講義では、映画、アニメ、小説等のフィクションの中でAR技術はどのように描かれてきたかを学習し、技術的な観点からその可能性を考察する。

※現実世界と仮想世界を融合し、新しい体験を創造する技術

◆課題実施方法

授業終了時に作成するレポートを10点満点で評価する。

◆参考図書等

『万物創生をはじめよう——私的VR事始』ジャロン・ラニアー（著）、谷垣 暁美（翻訳）、みすず書房、2020

◆Eメールアドレス

hyakusoku@suac.ac.jp

.....
【講師プロフィール】

◆専門分野

映像、映像技術、比較メディア史

◆主な研究テーマ

多視点映像コンテンツ制作、映像の意味分析

◆主な論文、著作、社会的な活動等

主な論文や著作に『自動アーカイブシステムを目的とした動画像の質的評価のモデル化』『「XR」の新しい視覚メディアとしてのコンテンツ産業の可能性』『メディア・リテラシー（2008、静岡学術出版）』などがある。また、『リトル・マエストラ』『20歳のソウル』などの映画制作にも技術担当として関わる。

◆講 師 聖隷クリストファー大学 国際教育学部 教授 竹本 石樹

◆講義テーマ Society 5.0 時代の人材育成

◆講義内容

時代は、変化します。そして時代によって、求められる人材像も変化します。それでは、Society5.0時代には、どのような人材育成が求められるのでしょうか？まずは、ここから出発します。

次に、Society5.0時代に求められる人材を育成するための方法について考えます。ここでは、近年、注目を集めているSTEM/STEAM教育を紹介します。

◆課題実施方法

授業終了時に作成するレポートを10点満点で評価する。

◆参考図書等

STEM／STEAM教育(理論と実践をつなぐ理科教育学研究の展開、一般社団法人日本理科教育学会編著)

◆Eメールアドレス

iwaki-t@seirei.ac.jp

.....
【講師プロフィール】

◆専門分野

STEAM教育、教師教育

◆主な研究テーマ

STEAM教育推進教師に必要な専門性とは何か？

◆主な論文、著作、社会的な活動等

Webベースの小学校STEM授業デザイン検討会における教師と研究者、技術者との関わりに関する特徴：発話データを用いたネットワーク分析を通して(日本科学教育研究学会)

◆講師 静岡大学 工学部 准教授 立蔵 洋介

◆講義テーマ 音をあやつる ―信号処理と機械学習の交差点―

◆講義内容

音を研究対象とした「音情報処理」は音響学を基盤に、心理学や生理学、近年では計算機科学など多くの分野を取り込んで発展したため、その応用技術は広範囲に渡っている。今回は、アナログ情報をデジタル情報に変換してデータを操作する信号処理と、データに潜んでいるルールやパターンを発見する機械学習の技術を中心とした音情報処理の研究事例を紹介する。

◆課題実施方法

- ・レポートによる評価(10点満点)とする。
- ・レポートは、授業終了後1週間程度を提出期限とする。
- ・レポートは電子媒体での提出とする。

◆参考図書等

特になし

◆Eメールアドレス

tatekura.yosuke@shizuoka.ac.jp

.....

【講師プロフィール】

◆専門分野

音情報処理, 信号処理, 機械学習

◆主な研究テーマ

音場制御, ビジュアルマイクロホン, 音環境認識

◆主な論文、著作、社会的な活動等

平川, 大野, 立蔵, ” ビジュアルマイクロホンにおける光量環境が音波抽出に与える影響,” 電子情報通信学会論文誌, Vol. J107-D, No. 04, 2024.

日本音響学会編集委員会論文部会幹事, 静岡空港環境保全アドバイザー, 静岡県大店立地法専門委員, 静岡県環境影響評価審査会委員など

第6回〈第11・12講〉令和6年11月16日（土） 9：30～12：40

◆講 師 常葉大学 健康プロデュース学部 心身マネジメント学科
講師 神力 亮太

◆講義テーマ Society5.0 社会におけるスポーツの重要性

◆講義内容

Society5.0 では、先端技術に注目が集まっているが、それらを利活用しつつ、誰もが快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることができる人間中心の社会を目指しています。そこで、コロナ禍を経たことにより重要性が再認識されている「スポーツ」に着目し、共生社会の実現に向けて重要なことについてパラリンピックをテーマに考えます。

◆課題実施方法

授業終了直前にウェブフォーム（Google フォームなど）にて、小テストおよびレポートを課す。提出期限は1週間程度とし、提出期限を過ぎてからは受け取らない。
得点の割合は小テスト4点、レポート6点の計10点満点で評価する。

◆参考図書等

特になし

◆Eメールアドレス

Shinriki@hm.tokoha-u.ac.jp

.....
【講師プロフィール】

◆専門分野

スポーツマネジメント、コーチング

◆主な研究テーマ

コーチ教育、コーチング、スポーツマネジメント

◆主な論文、著作、社会的な活動等

「運動部活動における状況適応型リーダーシップの研究：SL理論の視座を援用して」九州工業大学大学院生命体工学研究科 学位論文

「運動部活動地域移行事業による中学生のスポーツへの動機づけの変化」教育支援協働学研究, 5 : 33-40.

第7回〈第13・14講〉令和6年11月30日（土） 9：30～12：40

【特別公開講座】

◆講 師 静岡産業大学 スポーツ科学部 学部長 高橋 和子

◆講義テーマ 人生100年時代への挑戦：和顔施でしなやかに生きる

◆講義内容

Society5.0を豊かに生きる為に、人間の「感じる・動く・ひらく・かかわる・表す」働きを再確認する。その中の「ひらく」例示としてマインドフルネスの呼吸を体験し、平均寿命と健康寿命の差を縮める足掛かりにしたい。また、「表す」を実現しあるがままに生きた先達（女優の北林谷栄・医師の日野原重明・小説家の瀬戸内寂聴他）も紹介したい。

◆課題実施方法

1講目、2講目に小テストを実施する。

◆参考図書等

『からだ：気づき学びの人間学』高橋和子監修、晃洋書房

◆Eメールアドレス

k-takahashi@ssu.ac.jp <http://kazuko-ynu.jp>

.....

【講師プロフィール】

◆専門分野

舞踊教育学・体育科教育学・臨床教育学

◆主な研究テーマ

健康持続の「からだ気づき」のレジリエンスプログラムの開発、教員・看護職のコミュニケーションスキル育成、ダンス上演の成果

◆主な論文、著作、社会的な活動等

『からだ』晃洋書房, 文科省学習指導要領解説作成協力者(保健体育)、横浜市スポーツ協会評議員、静岡県スポーツ推進審議会委員

◆講 師 浜松学院大学 学長 今井昌彦

◆講義テーマ “創発”の諸相：生成AIがもたらすもの、それへの取り組み（事例）

◆講義内容

Society5.0とは、国連が制定したSDGsとは異なる日本オリジナルの理想社会像であり、2024年においては、既にSociety6.0へステップアップしているはずであるが、未だに5.0から次へ進んでいるという実感は、世間一般にはほぼない。それでもネットを覗けば、あらゆる分野の、特に生成AIに関するYouTuberが激増しており、具に閲覧していくと「なるほど」と実感させられる創発的世界観がそこにはある。大学の授業で扱ったものも含めて、生成AIに関する具体的事例を取り上げ考察する。

◆課題実施方法

授業終了時に作成するレポートを10点満点で評価する。

◆参考図書等

以下URL内の「6. Society5.0に向けた人材育成 について」

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2018/11/19/1411060_02_1.pdf

◆Eメールアドレス

imai@hamagaku.ac.jp

.....
【講師プロフィール】

◆専門分野

情報教育、教育工学、方法論（開発）

◆主な研究テーマ

AIと教育・人づくり・生き方

◆主な論文、著作、社会的な活動等

スマートデバイス・ネット社会とのつきあい方に関する講演活動（小・中・高等学校生徒・保護者・教員研修など1,300講演）

◇お問い合わせ先について

▼共同授業並びに出願に関するお問い合わせは、下記にお願いします。

※学生の皆さんは、在籍する大学へお問い合わせください。

※一般市民の方は（一般市民出願受付担当）と記載されている大学へお問い合わせください。

■単位認定校

静岡産業大学 教務課 〒438-0043 磐田市大原 1572-1	TEL 0538-37-3852 FAX 0538-36-8800
--------------------------------------	--------------------------------------

■共同授業部会事務局

聖隷クリストファー大学 教務事務センター 〒433-8558 浜松市中央区三方原町 3453	TEL 053-439-1433 FAX 053-437-6782
---	--------------------------------------

■大学事務局

静岡文化芸術大学 教務・学生室 （一般市民出願受付担当）	TEL 053-457-6114
---------------------------------	------------------

静岡大学 浜松教務課共通教育係	TEL 053-473-1022
-----------------	------------------

静岡大学 浜松教務課情報学部教務係	TEL 053-478-1511
-------------------	------------------

常葉大学 浜松教務課	TEL 053-428-3511
------------	------------------

静岡理工科大学 学務課	TEL 0538-45-0114
-------------	------------------

浜松学院大学・短期大学部 学務グループ	TEL 053-450-7000
---------------------	------------------

■行政

浜松市企画調整部企画課 大都市制度・広域行政 〒430-8652 浜松市中央区元城町 103-2	TEL 053-457-2086 FAX 050-3730-1867
---	---------------------------------------

磐田市企画部政策推進課 〒438-8650 磐田市国府台 3-1	TEL 0538-37-4805 FAX 0538-36-8954
-------------------------------------	--------------------------------------

袋井市企画部企画政策課 〒437-8666 静岡県袋井市新屋 1-1-1	TEL 0538-44-3105 FAX 0538-43-2131
---	--------------------------------------